

第4回 安中市道の駅整備検討委員会 説明資料

令和6年10月7日（月）14:00～

於：安中市役所本庁舎3階 委員会室

1. 今年度の目標と検討スケジュール（予定）
2. 令和5年度委員会の議論振り返り
- 3-1. 「道の駅」が置かれている状況
- 3-2. 基本計画検討に向けた各種調査の実施状況について
4. 「道の駅」整備の具体化に向けて

今年度の目標

- 安中市では、市内初の道の駅整備に向け、令和6年3月に『安中市「道の駅」基本構想』を策定
- 基本構想の具体化に向けては、来訪者のニーズや地域のポテンシャル、民間事業者のノウハウ導入の可能性を把握し、**必要とされる機能の「見定め」を行うことが重要**
- 今年度は、導入機能及び規模などの計画条件を具体化のうえ、**対象地の地域特性を活かした道の駅の整備内容を検討し、基本計画としてとりまとめる**ことを目的とする

検討スケジュール（予定）

- 今年度は、**整備検討委員会**を5回開催する予定
- 第5回委員会で、**道の駅整備の大きな方向性（単独整備、碓氷峠鉄道文化むら一体型整備）**について話題化し、議論のうえ決定
- 令和7年2月中の基本計画（案）取りまとめ**に向け、進めていく

表：各検討項目及び整備検討委員会の想定スケジュール



鉄道文化むら見学会
(予定)

表：検討委員会における各回の議題（※予定）

回	議題（案）
第4回 【今回】	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画検討スケジュールの提示 令和5年度委員会の議論の振り返り 各種調査の実施状況について
第5回 (11/15)	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査・各種ヒアリングの調査結果報告 計画条件の整理結果について 道の駅整備の大きな方向性に関する議論
第6回 (12/23)	<ul style="list-style-type: none"> 施設計画の検討状況について 維持管理・運営計画、資金計画の検討状況について
第7回 (調整中)	<ul style="list-style-type: none"> 施設計画の検討結果について 維持管理・運営計画、資金計画の検討結果について 基本計画（素案）の提示
第8回 (調整中)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画案の報告 工程計画（今後のスケジュール）の報告

今年度委員会の議論のポイント①

観点	昨年度意見概要（※議事録より抜粋）	今年度における議論のポイント【論点】
「横川エリア」 として捉えること の重要性	<ul style="list-style-type: none"> 横川エリアを面として考えると、他の既にあるインフラなどと掛け合わせるのが重要だと思うので、広い視野を持ちながら検討してほしい。【第1回】 （地域としては）めがね橋や碓氷峠関所跡などの観光資源との連携、足湯の設置、地域住民の雇用の場として期待したい等の意見があった。【第1回】 	<p>➡計画対象地近辺だけでなく、碓氷峠関所跡や歴史的遺産等、周辺の観光資源との連携を図りながらどのような“特徴ある”道の駅を目指すか。</p>
他地域からの 誘客の重要性	<ul style="list-style-type: none"> 軽井沢町のアウトレットは、かなり若い年代の方が多い。計画地も含めてアンケートを行い、ニーズ調査する必要があるのではないか。【第3回】 軽井沢から観光誘客を図ることは非常に重要。【第3回】 	<p>➡他地域からの誘客の可能性を図るため、ニーズ調査結果を踏まえながら、連携の方向性を検討する。</p>
地域住民への 配慮の重要性	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅を持続的に運営していくためには、地域住民がしっかり固定客になることが重要と思う。売上の的にも重要な存在であることは強調したい。【第1回】 地域住民の方々が、毎日買物できるなど、日常的に利用できる機能も大事な視点と思っている。【第1回】 地域住民の普段の利用があるからこそ持続可能となる。【第2回】 	<p>➡観光利用だけでなく、地域住民の方々に日常的に利用していただき、持続可能性を高めていくためのあり方をどうするか。</p>
情報発信の 重要性	<ul style="list-style-type: none"> 外出する際に、SNSからの情報を得ることがとても多くなっている。気軽に寄れてSNS映えする道の駅にしたいと思う（情報発信が非常に大事）【第1回】 	<p>➡多方面から来訪され、立ち寄っていただくための情報発信のあり方をどうするか。</p>

今年度委員会の議論のポイント②

観点	昨年度意見概要（※議事録より抜粋）	今年度における議論のポイント【論点】
道の駅の大きな位置づけについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災面などの規模を拡大して、例えばヘリポートなどがあってもいいのではないか。【第2回】 ・ 防災面のスペースも含めて敷地を決めて、その中でどのように活用していくかが重要だと思う。【第2回】 ・ その地域の農産物を提供する能力がどのくらいあるか。商品開発をやっている地域のスイーツを道の駅で売っていく可能性などもあり、今後、道の駅で何をどうしていくのかという議論が必要。【第2回】 ・ （他の道の駅と比較することなく）市長が掲げるオンリーワンの道の駅を目指すべき。【第2回】 ・ インバウンドを考えたときに、観光面から言っても非常にいいタイミング。観光客へ、オンリーワンに相応しい資源やその情報も含めて提供できれば良い。【第2回】 ・ 防災、地域の農作物の可能性、道の駅拠点の観光誘客の3点が主軸となる。【第2回】 ・ これまでの碓氷峠鉄道文化むらを維持するのもよいが、新しい近代的なもの、リニアなど未来に向けた展示ができればよい。【第3回】 	<p>➡道の駅として確実に求められる機能のほか、 「ここにしかない道の駅」を目指すにあたり、 どんな機能・コンテンツの導入・強化が必要か。</p>

今年度委員会の議論のポイント③

観点	昨年度意見概要（※議事録より抜粋）	今年度における議論のポイント【論点】
計画対象地の つかい方	<ul style="list-style-type: none"> • (対象地は)若干高低差があり、うまく地形をデザインしないと有効な活用ができないと思う。【第1回】 • 土日は駐車場が埋まり、道の駅ができれば周辺道路の混雑が見込まれるが、この対応も計画しておく必要がある。【第1回】 • 敷地が縦長なので、一番東側の駐車場から無人のカートで移動出来ればいいのではないか。【第2回】 • 必ず全域を一度に開発しなくてもいい。段階的な開発により持続的な誘客に繋がると思う。【第2回】 • 必要な駐車台数が確保され、その他余剰部分があれば、あえて広場などにしておくのも良いのではないか。【第2回】 	<p>➡施設計画の中で、道の駅として確保せねばならない機能と、厳しい敷地形状の中で来訪者の滞留やアクティビティに資する空間等をどのように両立させるかを検討する。</p>
整備の大きな 方向性について	<ul style="list-style-type: none"> • 鉄道文化むらと共存できる道の駅となるような作り方を考えて欲しい。【第2回】 • 鉄道文化むらと一体化した道の駅にすることで、全国に誇る一大観光地になる。(…)話題性や集客力のある安中市にしかない道の駅にしてほしい。【第2回】 • 総論では一体で進める判断をされた後、どこに何を置くか等は各論になってくる。屋内展示施設は管理費もかかり、回収できるかなどの検討も必要。【第2回】 • 新鮮なものとノスタルジックなものをどう共存させるかが一体化で検討する際のポイントだと思う。【第2回】 • 防災拠点・インフラなど基本的な役割や新しく求められている観光分野などの拡張性を持たせるという配慮は良い。【第2回】 	<p>➡道の駅の単独整備か、碓氷峠鉄道文化むらとの一体型整備のどちらの方向性を目指すかを確定させ、道の駅整備の基本計画として取りまとめる。</p>

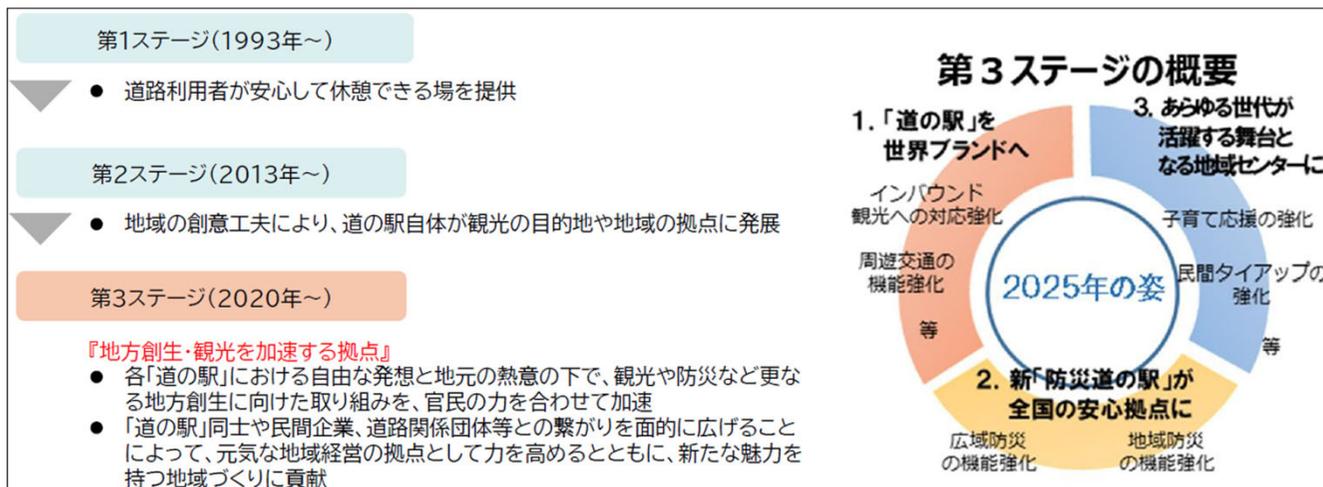
「道の駅」における取組みの深化

- 2020年より、「地方創生・観光を加速する拠点」を目指す「第3ステージ」の取組みが進められている。
- 前段の第2ステージでは、「道の駅」を魅力的にすることで結果として地方創生に導く取組みであったのに対し、第3ステージでは、「まち全体」を中心にコンセプトを共有し、「まち」と「道の駅」が戦略的に一体で進める取組みとなっている。

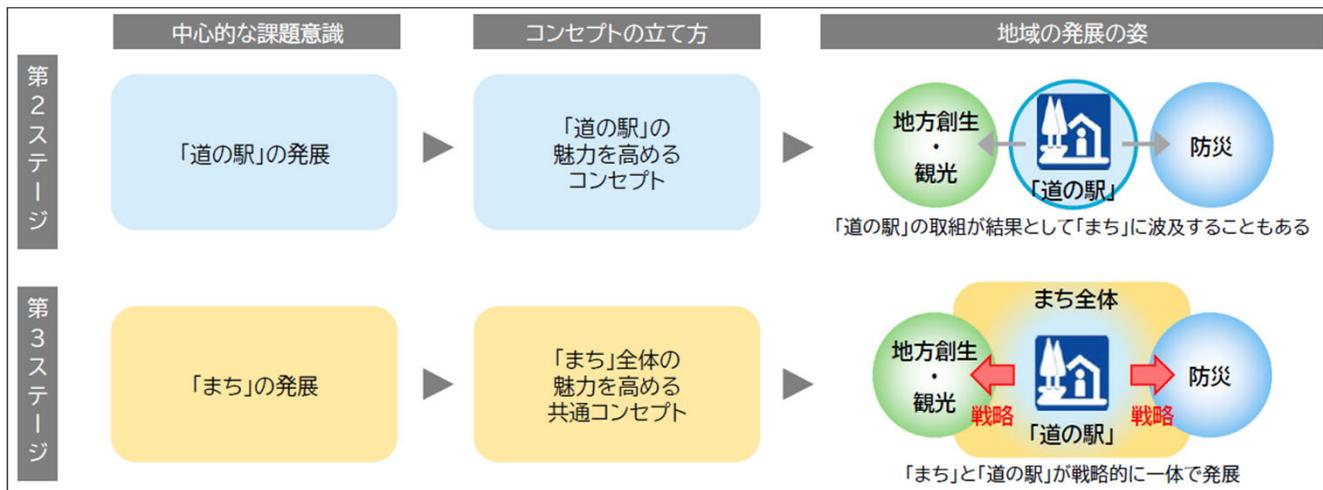
2020年の第3ステージ始動以後、新型コロナウイルス感染症流行、令和6年能登半島地震をはじめとした全国各地での自然災害等、様々な社会情勢の変化を経験しました。

これから益々、「まち」と「道の駅」が一体となり、戦略的に取組みを進め発展していくことが求められていきます。

道の駅が置かれている、上記の状況を念頭に置きながら、今年度の検討を進めていく必要があります。



▲「道の駅」第3ステージの概念



▲「道の駅」第2・第3ステージの違い

出典：「道の駅」第3ステージ 中間レビューと今後の方向性（「道の駅」第3ステージ推進委員会、令和6年7月）

実施調査一覧

調査項目	調査の目的	調査実施時期
①来訪者インタビュー調査 * 資料p8-19参照	<ul style="list-style-type: none">計画対象地や周辺施設の来訪者に対し、道の駅が整備された際に求める機能やコンテンツ等についてインタビュー調査を行い、ニーズを把握するため	令和6年9月14日（土） ※当初は8/31（土）or 9/1（日）に実施予定であったが、台風10号来襲に伴い順延
②地区住民アンケート調査 * 資料p20-26参照	<ul style="list-style-type: none">計画対象地周辺（横川・原・坂本・五料：対象756世帯）にお住まいの方に対し、道の駅が整備された際に求める機能やコンテンツ等についてアンケート調査を行い、ニーズを把握するため	令和6年9月10日（火）～10月11日（金） ※現在実施中
③民間事業者ヒアリング調査 * 資料p27参照	<ul style="list-style-type: none">道の駅の整備や運営管理のあり方について、事業者の参画意向や展開できそうなアイデア・知見などについてヒアリングを行い、公民連携による道の駅の運営管理の実現に向け、事業化におけるメリットや課題を把握するため	令和6年9月17日（火）～10月4日（金） ※事業者意向や状況に応じ、上記期間外にも実施予定

調査実施箇所

① 碓氷峠鉄道文化むら



② 横川ISA (下り)



③ 横川ISA (上り)



④ 軽井沢・プリンスショッピングプラザ



インタビュー内容

・以下の設問にて、来訪者にお声かけのうえ、インタビューを実施。

問1：属性（性別、年齢、お住まい）

問2：誰と来たか（家族／友人／同僚／一人／他）

問3：来訪理由（観光・レジャー／買い物／ビジネス／立ち寄り／他）

問4：交通手段（自家用車／鉄道／バス／バイク／自転車／他）

問5：訪問頻度（初めて／年に1～2回／2か月に1回／1ヶ月に1回／1週間に1回／ほぼ毎日）

問6・7：今までに行ったことがある／今後行ってみたい周辺施設

碓氷峠鉄道文化むら、おぎのやドライブイン、めがね橋等の歴史的遺産、アプトの道・廃線ウォーク、磯部温泉、霧積温泉、峠の湯・くつろぎの郷、小根山森林公園、軽井沢のリゾート施設、他

問8：道の駅に必要な機能・場所

休憩機能、物産販売機能、日常の買い物機能、情報発信機能、地域交流機能、防災機能、アクティビティ機能、イベント拠点機能、観光周遊のための公共交通拠点としての機能、子どもの遊び場所、ペットとのびのびと遊び憩える場所、他

問9：道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度

年に1～2回、2か月に1回、1ヶ月に1回、1週間に1回、ほぼ毎日、わからない

問10：その他自由意見回答



▲碓氷峠鉄道文化むら



▲横川SA（下り）



▲横川SA（上り）



▲軽井沢・プリンスショッピングプラザ

インタビュー調査回答票

安中市道の駅整備について、みなさまのご意見をお聞かせください！
道の駅に関するインタビュー調査 回答票

問1 あなたの性別、年齢、お住まいを教えてください。(〇は1つまで)

(1) 性別

1 男性 2 女性 3 その他

(2) 年齢 ※令和6年8月1日時点での年齢をご回答ください。

1 10代以下 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70代以上

(3) お住まい

1 群馬県内 2 群馬県外 (関東地方/栃木・茨城・埼玉・東京・神奈川・千葉道・府・県)
(それ以外)

問2 本日は誰と来ましたか。(〇は1つまで)

1 家族 2 友人 3 仕事の同僚
4 一人 5 その他 ()

問3 本日来訪した理由を教えてください。(〇は1つまで)

1 観光・レジャー (日帰り・宿泊) 2 買い物
3 ビジネス 4 休憩等での立ち寄り
5 その他 ()

問4 本日の交通手段を教えてください。(〇は1つまで)

1 自家用車 2 鉄道 3 バス 4 バイク
5 自転車 6 その他 ()

問5 訪問頻度を教えてください。(〇は1つまで)

1 初めて 2 年に1～2回程度 3 2か月に1回程度
4 1ヶ月に1回程度 5 1週間に1回程度 6 ほぼ毎日

問6 今までに行ったことがある周辺施設を教えてください。(複数回答可)

1 碓氷峠鉄道文化むら 2 おぎのやドライブイン
3 めがね橋等の歴史的遺産 4 アプトの道・廃線ウォーク
5 磯部温泉 6 霧積温泉
7 峠の湯・くつろぎの郷 8 小根山森林公園
9 軽井沢のリゾート施設 10 その他 ()

問7 今後行ってみたい周辺施設を教えてください。(複数回答可)

1 碓氷峠鉄道文化むら 2 おぎのやドライブイン
3 めがね橋等の歴史的遺産 4 アプトの道・廃線ウォーク
5 磯部温泉 6 霧積温泉
7 峠の湯・くつろぎの郷 8 小根山森林公園
9 軽井沢のリゾート施設 10 その他 ()

問8 道の駅に必要な機能・場所を教えてください。(〇は3つまで)

1 休憩機能 (レストラン、カフェ等で休憩できる)
2 物産販売機能 (地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品が販売されている)
3 日常の買い物機能 (スーパーマーケット利用が可能な店舗)
4 情報発信機能 (観光や、道路交通、地元の歴史や文化等の情報が取得できる施設)
5 地域交流機能 (地域の活動などで使用できる施設)
6 防災機能 (災害発生時にUターンや休憩が可能。いざという時に避難できる施設)
7 アクティビティ機能 (ハイカー向け施設、BBQ 施設、アウトドア施設等)
8 イベント拠点機能 (各種イベント・催しができる場所)
9 観光周遊のための公共交通拠点としての機能
10 子どもの遊び場所
11 ペットとのびのびと遊び憩える場所
12 その他 ()

問9 安中市に道の駅ができた場合、どのくらいの頻度で来訪しますか。

(〇は1つまで)

1 年に1～2回程度 2 2か月に1回程度 3 1か月に1回程度
4 1週間に1回程度 5 ほぼ毎日 6 わからない

問10 他にご意見があれば教えてください。

インタビュー調査のご協力、ありがとうございました。

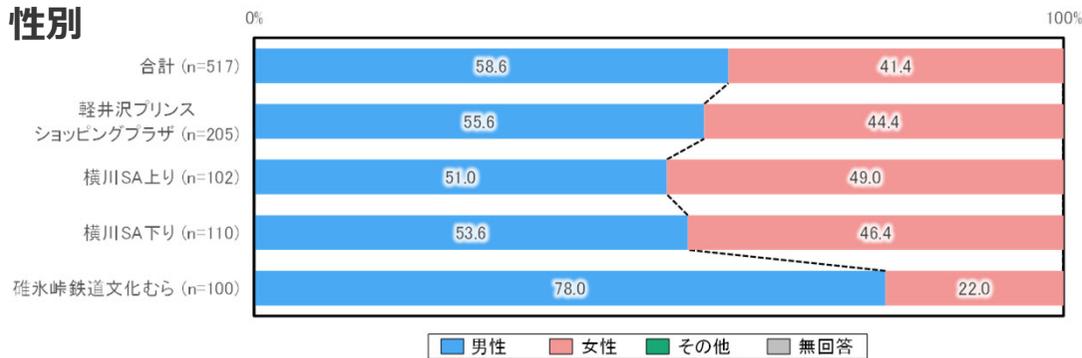
結果速報 (基本集計)

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

問1：属性

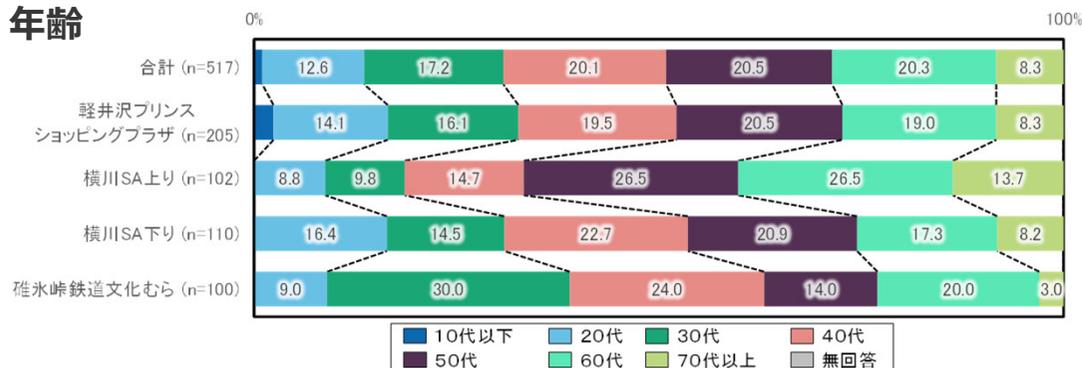
※構成比3%未満は値表記を省略

性別



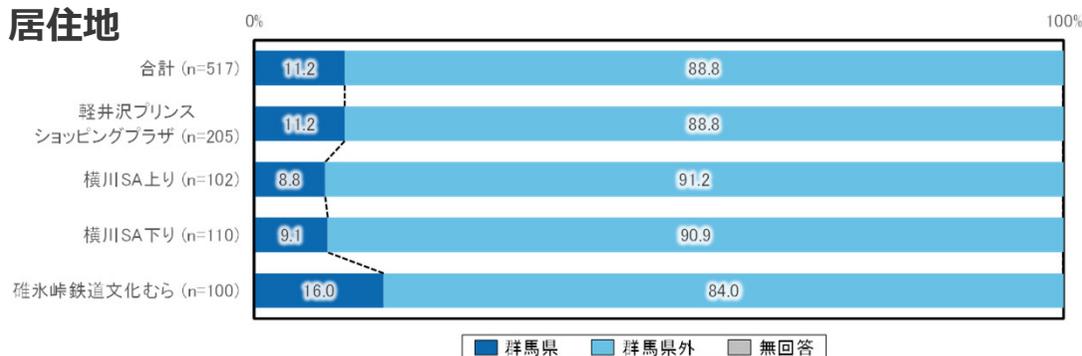
	合計	男性	女性	その他	無回答
合計	517	303	214	0	0
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205	114	91	0	0
横川SA上り	102	52	50	0	0
横川SA下り	110	59	51	0	0
碓氷峠鉄道文化むら	100	78	22	0	0

年齢



	合計	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
合計	517	5	65	89	104	106	105	43	0
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205	5	29	33	40	42	39	17	0
横川SA上り	102	0	9	10	15	27	27	14	0
横川SA下り	110	0	18	16	25	23	19	9	0
碓氷峠鉄道文化むら	100	0	9	30	24	14	20	3	0

居住地



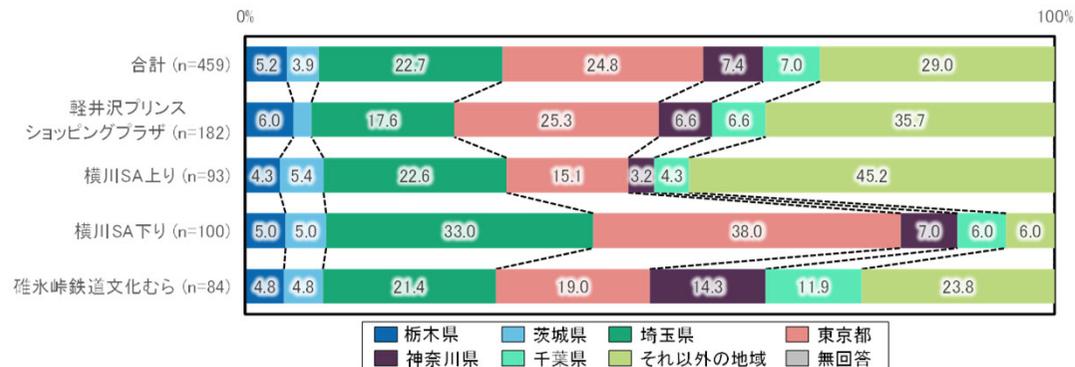
	合計	群馬県内	群馬県外	無回答
合計	517	58	459	0
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205	23	182	0
横川SA上り	102	9	93	0
横川SA下り	110	10	100	0
碓氷峠鉄道文化むら	100	16	84	0

結果速報 (基本集計)

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

問1：属性 ※構成比3%未満は値表記を省略

居住地 (群馬県を除く居住地)



	合計	栃木県	茨城県	埼玉県	東京都	神奈川県	千葉県	それ以外の地域	無回答
合計	459	24	18	104	114	34	32	133	0
軽井沢プリンス	182	11	4	32	46	12	12	65	0
ショッピングプラザ	182	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
横川SA上り	93	4	5	21	14	3	4	42	0
横川SA下り	100	5	5	33	38	7	6	6	0
碓氷峠鉄道文化むら	84	4	4	18	16	12	10	20	0

※「それ以外の地域」の具体的な回答

軽井沢プリンスショッピングプラザ

道府県	件数
長野県	34
新潟県	6
福島県	5
富山県	4
石川県	4
愛知県	4
静岡県	2
岩手県	1
福井県	1
山梨県	1
岐阜県	1
京都府	1
大阪府	1

横川SA上り

道府県	件数
長野県	25
石川県	7
新潟県	3
愛知県	3
富山県	2
岐阜県	1
三重県	1

横川SA下り

道府県	件数
秋田県	1
福島県	1
新潟県	1
愛知県	1
三重県	1
大阪府	1

碓氷峠鉄道文化むら

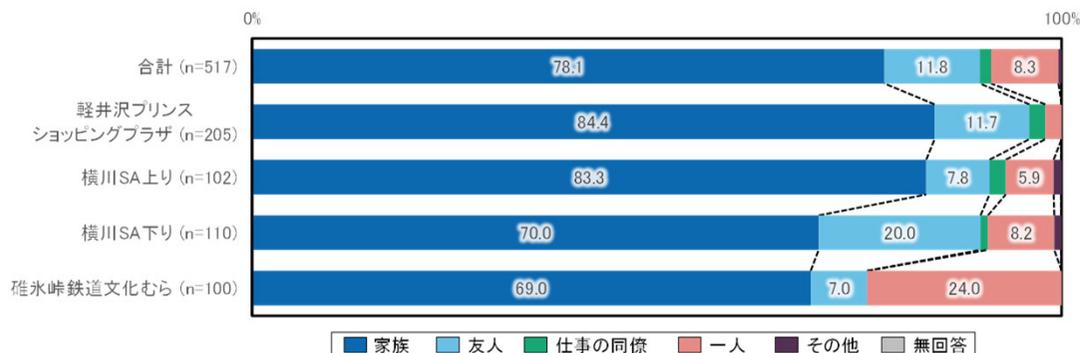
道府県	件数
長野県	7
新潟県	2
山梨県	2
大阪府	2
北海道	1
福島県	1
富山県	1
石川県	1
福井県	1
愛知県	1
滋賀県	1

結果速報（基本集計）

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

問2：当日の同行者

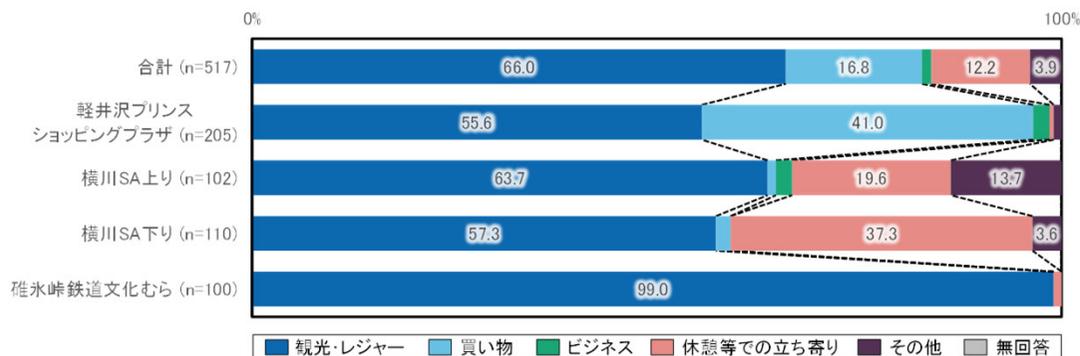
※構成比3%未満は値表記を省略



	合計	家族	友人	仕事の同僚	一人	その他	無回答
合計	517 100.0%	404 78.1%	61 11.8%	7 1.4%	43 8.3%	2 0.4%	0 0.0%
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205 100.0%	173 84.4%	24 11.7%	4 2.0%	4 2.0%	0 0.0%	0 0.0%
横川SA上り	102 100.0%	85 83.3%	8 7.8%	2 2.0%	6 5.9%	1 1.0%	0 0.0%
横川SA下り	110 100.0%	77 70.0%	22 20.0%	1 0.9%	9 8.2%	1 0.9%	0 0.0%
碓氷峠鉄道文化むら	100 100.0%	69 69.0%	7 7.0%	0 0.0%	24 24.0%	0 0.0%	0 0.0%

問3：当日の来訪理由

※構成比3%未満は値表記を省略



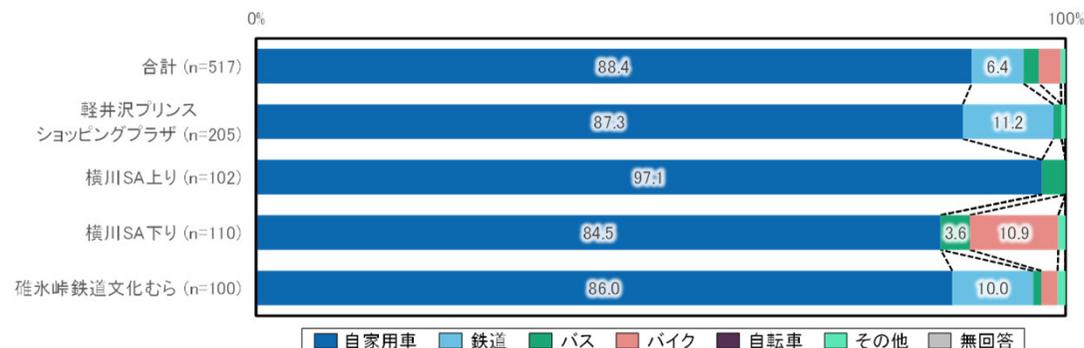
	合計	観光・レジャー	買い物	ビジネス	休憩等での立ち寄り	その他	無回答
合計	517 100.0%	341 66.0%	87 16.8%	6 1.2%	63 12.2%	20 3.9%	0 0.0%
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205 100.0%	114 55.6%	84 41.0%	4 2.0%	1 0.5%	2 1.0%	0 0.0%
横川SA上り	102 100.0%	65 63.7%	1 1.0%	2 2.0%	20 19.6%	14 13.7%	0 0.0%
横川SA下り	110 100.0%	63 57.3%	2 1.8%	0 0.0%	41 37.3%	4 3.6%	0 0.0%
碓氷峠鉄道文化むら	100 100.0%	99 99.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%

結果速報（基本集計）

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

問4：当日の交通手段

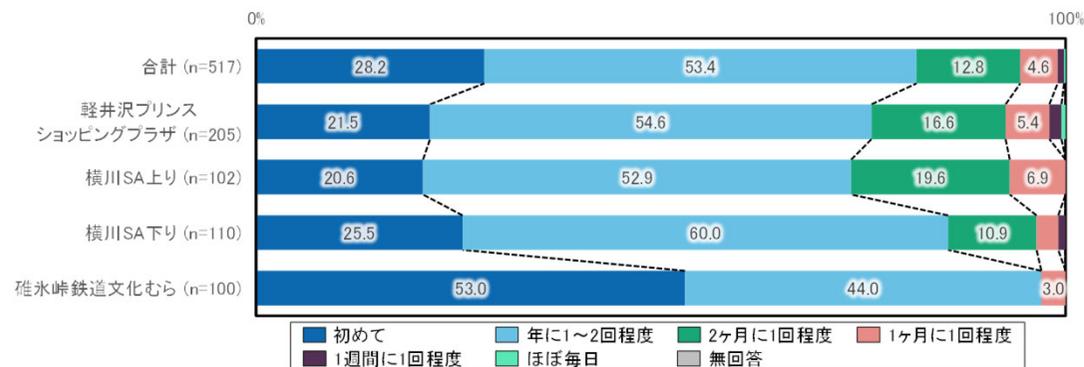
※構成比3%未満は値表記を省略



	合計	自家用車	鉄道	バス	バイク	自転車	その他	無回答
合計	517	457	33	10	14	0	3	0
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205	179	23	2	0	0	1	0
横川SA上り	102	99	0	3	0	0	0	0
横川SA下り	110	93	0	4	12	0	1	0
碓氷峠鉄道文化むら	100	86	10	1	2	0	1	0

問5：訪問頻度

※構成比3%未満は値表記を省略

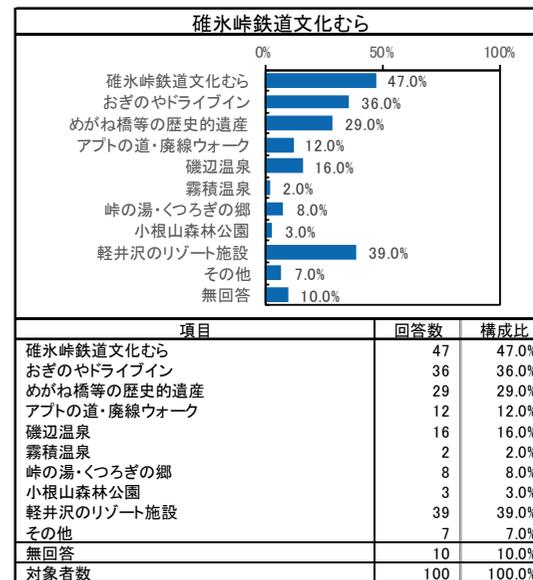
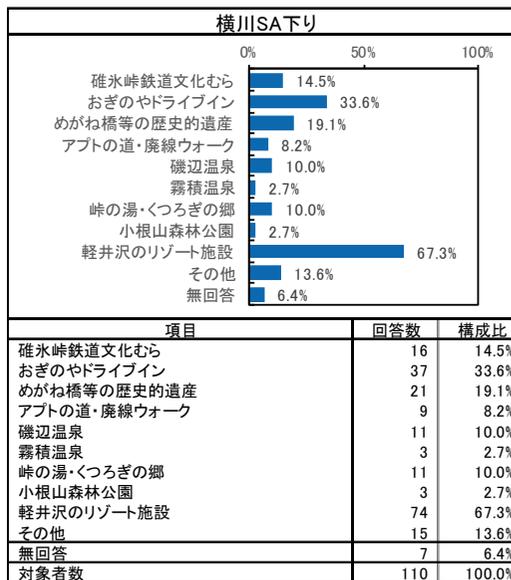
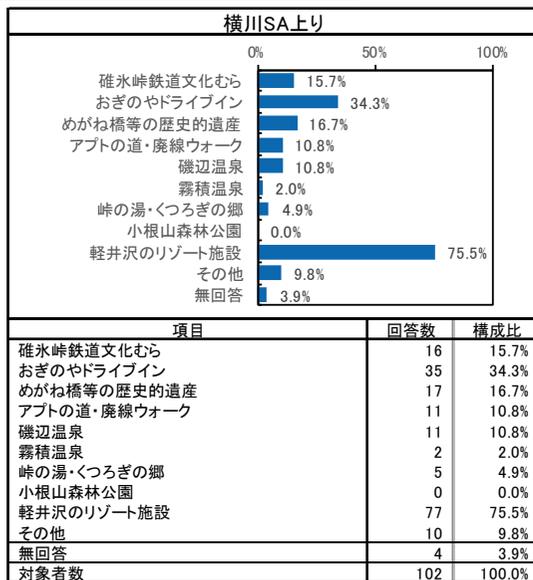
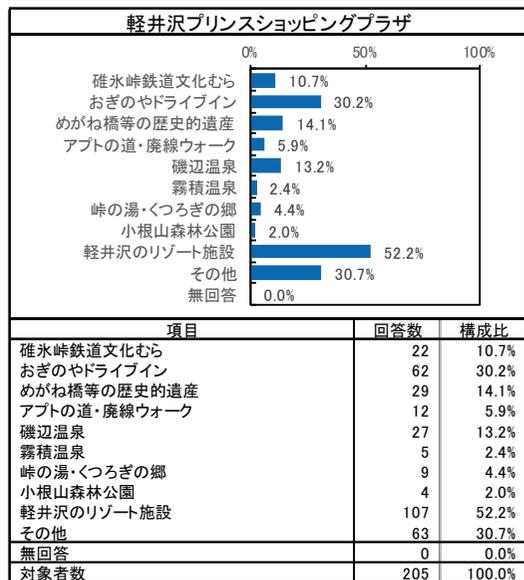


	合計	初めて	年に1~2回程度	2ヶ月に1回程度	1ヶ月に1回程度	1週間に1回程度	ほぼ毎日	無回答
合計	517	146	276	66	24	4	1	0
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205	44	112	34	11	3	1	0
横川SA上り	102	21	54	20	7	0	0	0
横川SA下り	110	28	66	12	3	1	0	0
碓氷峠鉄道文化むら	100	53	44	0	3	0	0	0

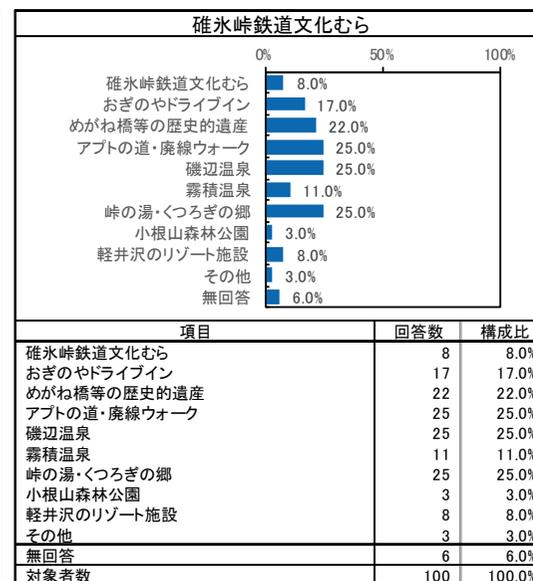
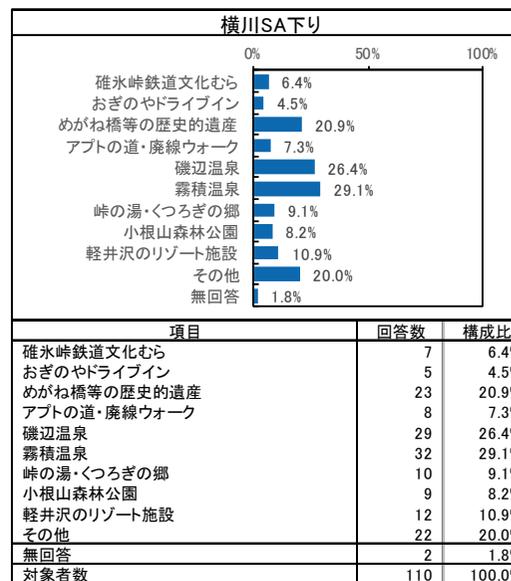
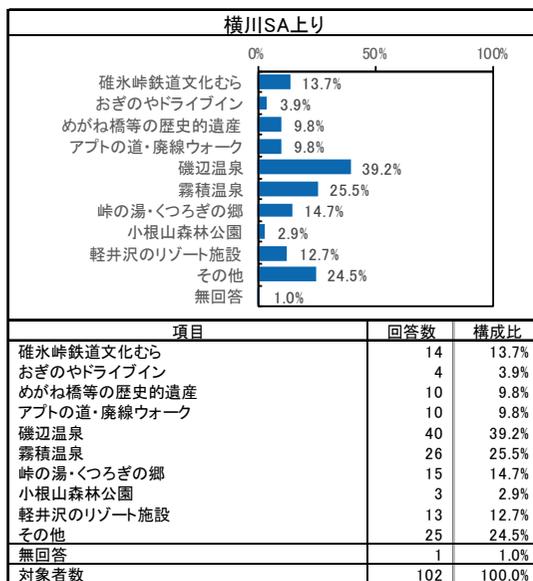
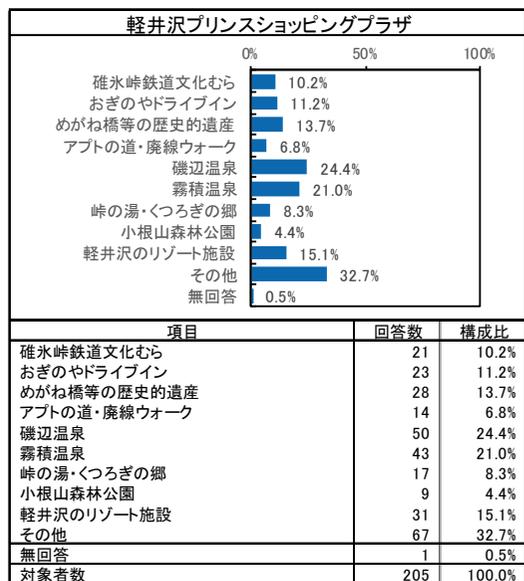
結果速報 (基本集計)

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

問6：今までに行ったことがある周辺施設



問7：今後行ってみたい周辺施設

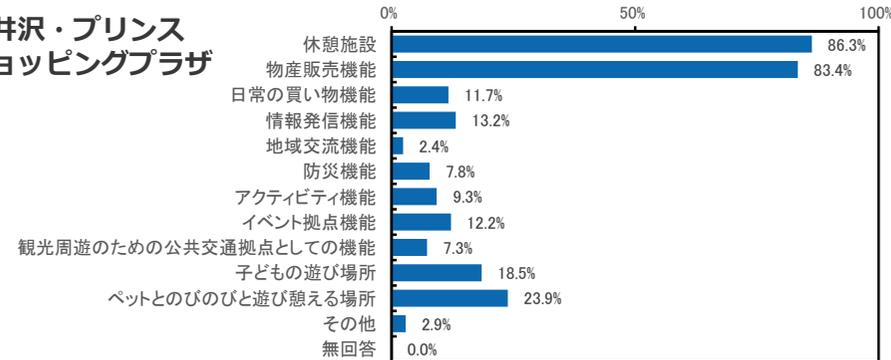


結果速報（基本集計）

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

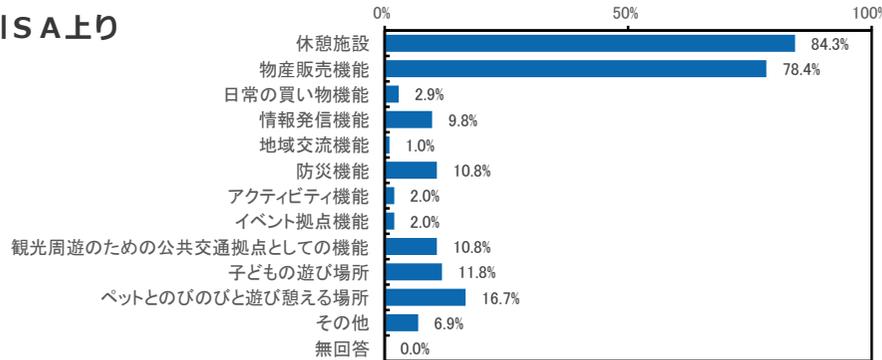
問8：道の駅に必要な機能・場所

軽井沢・プリンス
ショッピングプラザ



項目	回答数	構成比
休憩施設	177	86.3%
物産販売機能	171	83.4%
日常の買い物機能	24	11.7%
情報発信機能	27	13.2%
地域交流機能	5	2.4%
防災機能	16	7.8%
アクティビティ機能	19	9.3%
イベント拠点機能	25	12.2%
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	15	7.3%
子どもの遊び場所	38	18.5%
ペットとのびのびと遊び憩える場所	49	23.9%
その他	6	2.9%
無回答	0	0.0%
対象者数	205	100.0%

横川SA上り



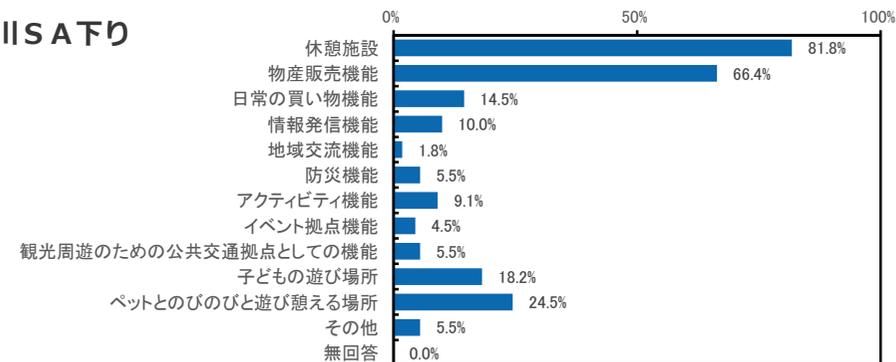
項目	回答数	構成比
休憩施設	86	84.3%
物産販売機能	80	78.4%
日常の買い物機能	3	2.9%
情報発信機能	10	9.8%
地域交流機能	1	1.0%
防災機能	11	10.8%
アクティビティ機能	2	2.0%
イベント拠点機能	2	2.0%
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	11	10.8%
子どもの遊び場所	12	11.8%
ペットとのびのびと遊び憩える場所	17	16.7%
その他	7	6.9%
無回答	0	0.0%
対象者数	102	100.0%

結果速報 (基本集計)

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

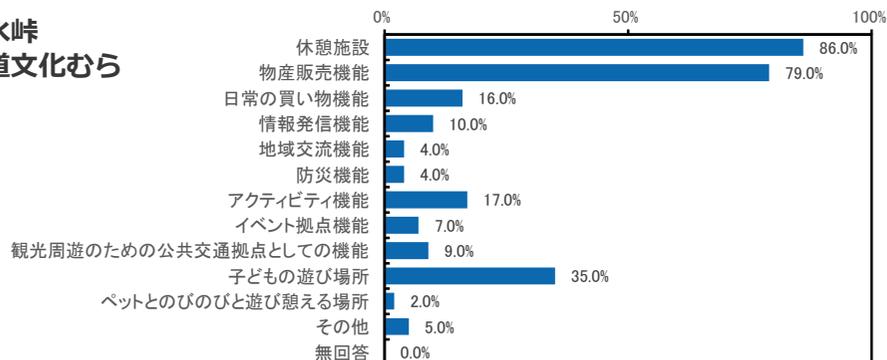
問8：道の駅に必要な機能・場所

横川SA下り



項目	回答数	構成比
休憩施設	90	81.8%
物産販売機能	73	66.4%
日常の買い物機能	16	14.5%
情報発信機能	11	10.0%
地域交流機能	2	1.8%
防災機能	6	5.5%
アクティビティ機能	10	9.1%
イベント拠点機能	5	4.5%
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	6	5.5%
子どもの遊び場所	20	18.2%
ペットとのびのびと遊び憩える場所	27	24.5%
その他	6	5.5%
無回答	0	0.0%
対象者数	110	100.0%

碓氷峠
鉄道文化むら



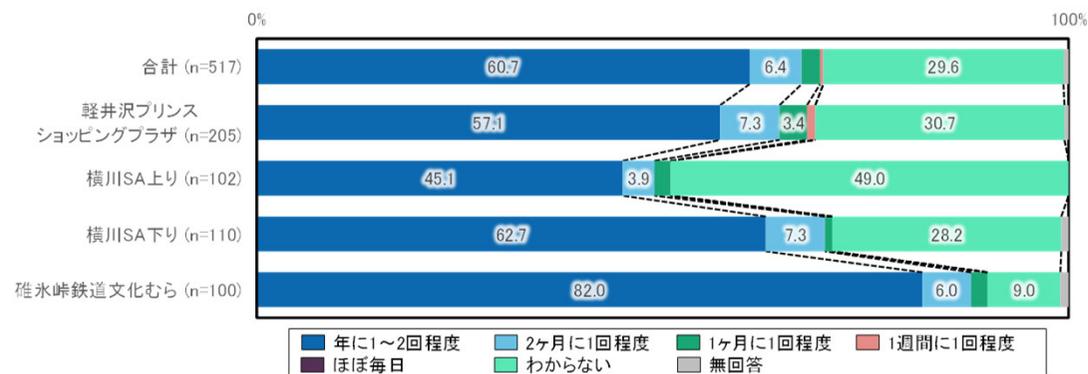
項目	回答数	構成比
休憩施設	86	86.0%
物産販売機能	79	79.0%
日常の買い物機能	16	16.0%
情報発信機能	10	10.0%
地域交流機能	4	4.0%
防災機能	4	4.0%
アクティビティ機能	17	17.0%
イベント拠点機能	7	7.0%
観光周遊のための公共交通拠点としての機能	9	9.0%
子どもの遊び場所	35	35.0%
ペットとのびのびと遊び憩える場所	2	2.0%
その他	5	5.0%
無回答	0	0.0%
対象者数	100	100.0%

結果速報（基本集計）

※基本集計の速報結果であり、次回、正式な結果を提示させていただきます

問9：安中市に道の駅ができた場合の来訪意向

※構成比3%未満は値表記を省略



	合計	年に1～2回程度	2ヶ月に1回程度	1ヶ月に1回程度	1週間に1回程度	ほぼ毎日	わからない	無回答
合計	517	314	33	12	2	0	153	3
軽井沢プリンス ショッピングプラザ	205	117	15	7	2	0	63	1
横川SA上り	102	46	4	2	0	0	50	0
横川SA下り	110	69	8	1	0	0	31	1
碓氷峠鉄道文化むら	100	82	6	2	0	0	9	1

※問10（その他ご意見）は、次回、正式な結果を提示させていただきます

参考：鉄道文化むら利用状況

① 駐車場

- 3連休初日・快晴の天候という状況もあり、多くの来訪者による利用があった。
- 12時台にカウントしたところ、**ゲート側駐車場は満車（59台）、駅側駐車場も多くの利用（37台）**があった。



▲ゲート側駐車場（枠外に駐車する車両も見られた）



▲駅側駐車場

② 構内

- 快晴の天候であったため、**構内の四阿や木陰など、緑・自然が近い環境で休息する来訪者**が見られた。
- お昼時（12時頃）には、**構内の食事スペースで昼食休憩を取る来訪者**が多く見られた。特に子ども連れの客層が多かった。
- **資料館内の展示（ジオラマ模型）を観覧する来訪者**も多く見られた。



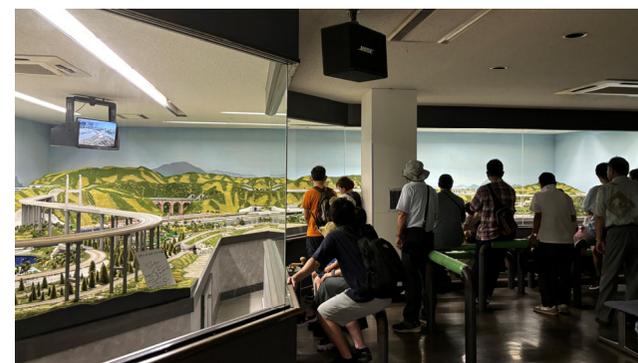
▲四阿の下で休息する来訪者の状況



▲木陰で休息する来訪者の状況



▲お昼時（12時頃）に昼食休憩を取る来訪者の状況



▲鉄道資料館内の展示を観覧する来訪者の状況

調査内容

・横川・原・坂本・五料地区にお住まいの方（対象：756世帯）を対象に、以下の設問にてアンケート調査を実施。

問1：属性（性別、年齢、お住まいの地区）

問2：これまで道の駅を利用した際の主な目的

食事、買い物、休憩での立ち寄り、イベントや地域交流行事等への参加、
観光情報や交通情報の入手、子どもの遊び場としての利用、他

問3：道の駅ができる場合に必要だと思う機能や場所

日常の買い物機能、休憩機能、物産販売機能、地域交流機能、防災機能、情報発信機能、
アクティビティ機能、イベント拠点機能、観光周遊のための公共交通拠点としての機能、
子どもの遊び場所、ペットとのびのびと遊び憩える場所、他

問4：道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度

ほとんど訪問しない、年に1回、半年に1回、2か月に1回、1ヶ月に1回、
1週間に1回、ほぼ毎日、わからない

問5：「地域との協働」による道の駅の運営・管理の活動への参加意向

参加したい／条件が合えば参加したい／参加したくない

問6：参加できる具体的な活動（問5で「参加したい・条件が合えば参加したい」の場合）

地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品などの物産品の出品
地域の交流振興が図れる施設の維持管理・運営
地域の環境学習やイベント開催ができる文化教養施設の維持管理・運営
地域の自然環境を活かしたアウトドア・アクティビティプログラムの運営
道の駅施設の清掃や美化活動など、日常的な維持管理活動への参加 他

問7：その他自由意見回答

アンケート調査票

問1 あなたの性別、年齢、お住まいを教えてください。(各項目とも○は1つまで)

(1) 性別

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

(2) 年齢 ※令和6年4月1日時点での年齢をご回答ください。

1 10代以下	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代以上	

(3) お住まいの地区

1 横川	2 原	3 坂本	4 五料
------	-----	------	------

問2 これまで道の駅を利用した際の主な目的を教えてください。(複数回答可：○はいくつでも) ※「8. その他」を選択した方は、具体的に目的を記入してください

1 食事(レストランやカフェ等での飲食)
2 買い物(地域の特産品や地元の農作物、お土産などの購入)
3 観光やドライブ等の休憩での立ち寄り
4 イベントや地域交流行事等への参加
5 観光情報や交通情報の入手
6 子どもの遊び場としての利用
7 特に利用したことがないのでわからない
8 その他 ()

問3 安中市に道の駅ができる場合に必要だと思う機能や場所を教えてください。(複数回答可：○は3つまで) ※「12. その他」を選択した方は、具体的な内容を記入してください

1 日常の買い物機能(スーパーマーケット利用が可能な店舗)
2 休憩機能(レストラン、カフェ等で休憩できる)
3 物産販売機能(地元の農産物・特産品や加工品、地域素材の商品が販売されている)
4 地域交流機能(地域の活動などに使用できる施設)
5 防災機能(いざという時に避難できる施設)
6 情報発信機能(観光や、道路交通、地元の歴史や文化等の情報が取得できる施設)
7 アクティビティ機能(ハイカー向け施設、BBQ施設、アウトドア施設等)
8 イベント拠点機能(各種イベント・催しができる場所)
9 観光周遊のための公共交通拠点としての機能
10 子どもの遊び場所
11 ペットとのびのびと遊び憩える場所
12 その他 ()

問4 安中市に、道の駅が整備された場合、どのくらいの頻度で来訪しますか。(○は1つまで)

1 ほとんど訪問しない	2 年に1回程度
3 半年に1回程度	4 2か月に1回程度
5 1か月に1回程度	6 1週間に1回程度
7 ほぼ毎日	8 わからない

問5 現在、道の駅は、地域住民の方にも利用していただけるような取り組みが進められています。このような、「地域との協働」による道の駅の運営・管理を見据えた場合に、その活動に参加したいと思いますか。(○は1つまで)

1 参加したい	2 条件が合えば参加したい
3 参加したくない	

問6 【※問5で選択肢1、2を選択した方のみご回答ください】
具体的にどのような活動に参加できそうですか。(複数回答可：○はいくつでも)
※「6. その他」を選択した方は、具体的な内容を記入してください

1 地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品などの物産品の出品
2 地域の交流振興が図れる施設の維持管理・運営
3 地域の環境学習やイベント開催ができる文化教養施設の維持管理・運営
4 地域の自然環境を活かしたアウトドア・アクティビティプログラムの運営
5 道の駅施設の清掃や美化活動など、日常的な維持管理活動への参加
6 その他 ()

問7 その他、ご意見がございましたら以下にご記入ください。

--

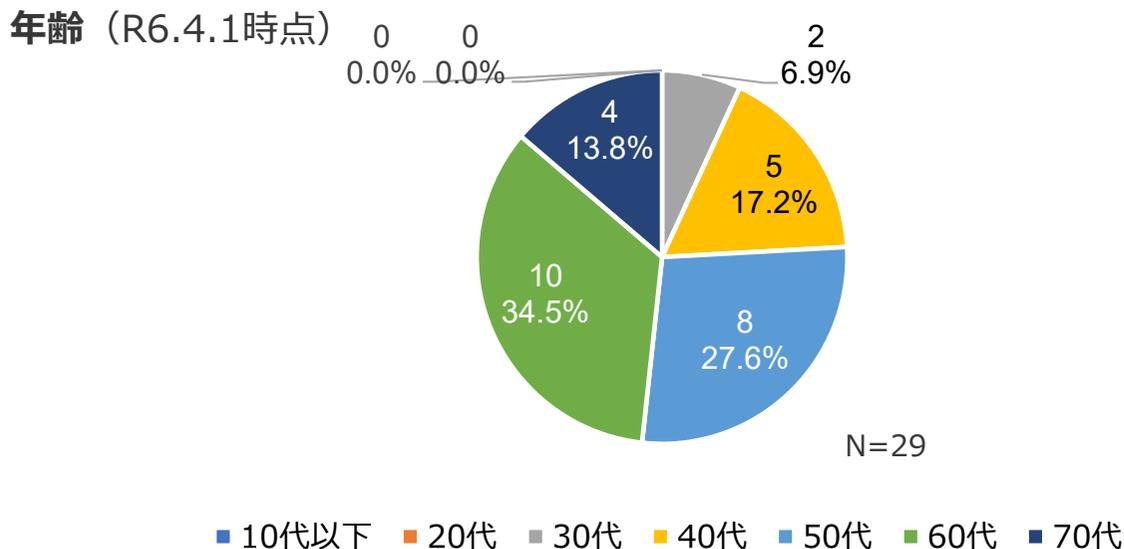
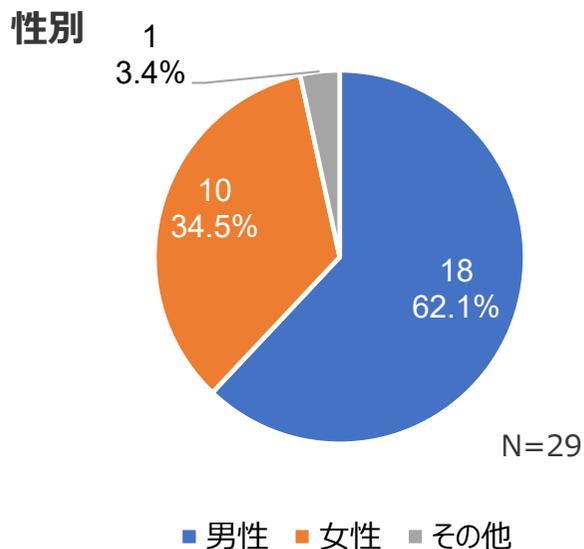
道の駅に関するアンケート調査は以上です。
ご協力いただき、ありがとうございました。

結果速報 (WEBの基本集計のみ)

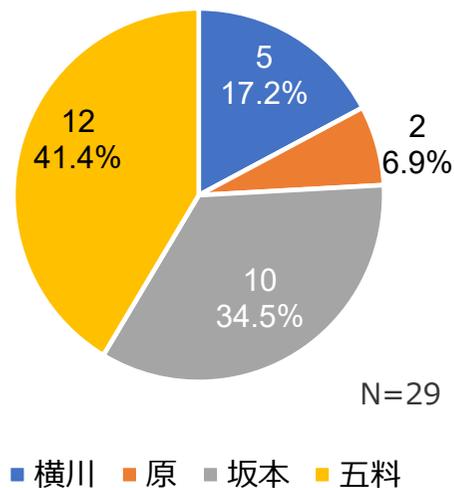
※WEB回答の中間集計状況のみであり、次回、正式な結果を提示させていただきます

* WEB回答：令和6年10月4日（金）集計状況 [総計**29票**]

問1：属性



お住まいの地区

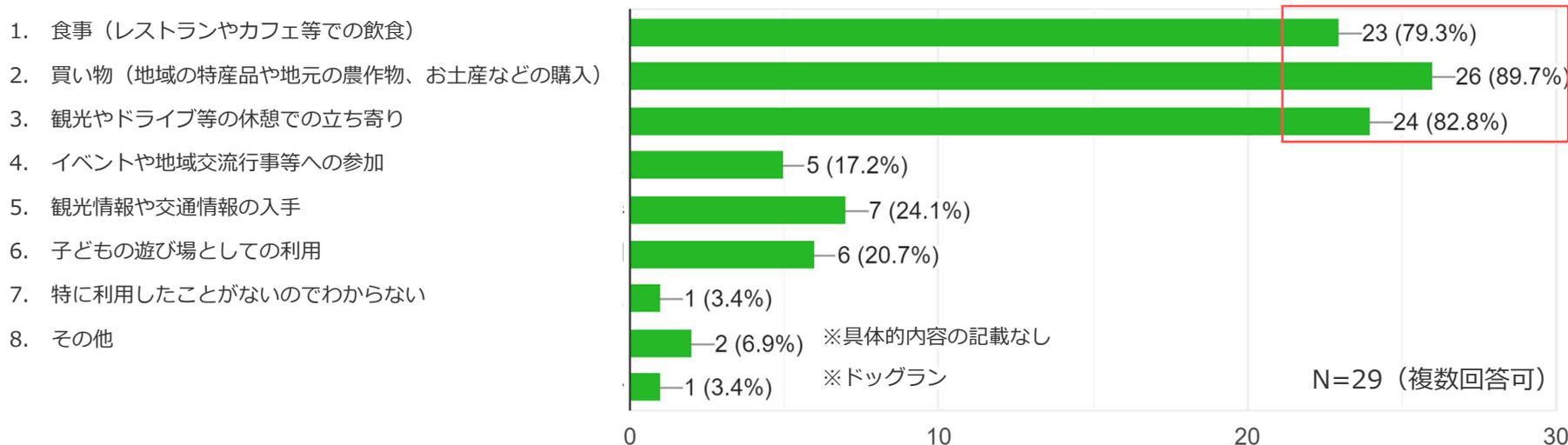


結果速報 (WEBの基本集計のみ)

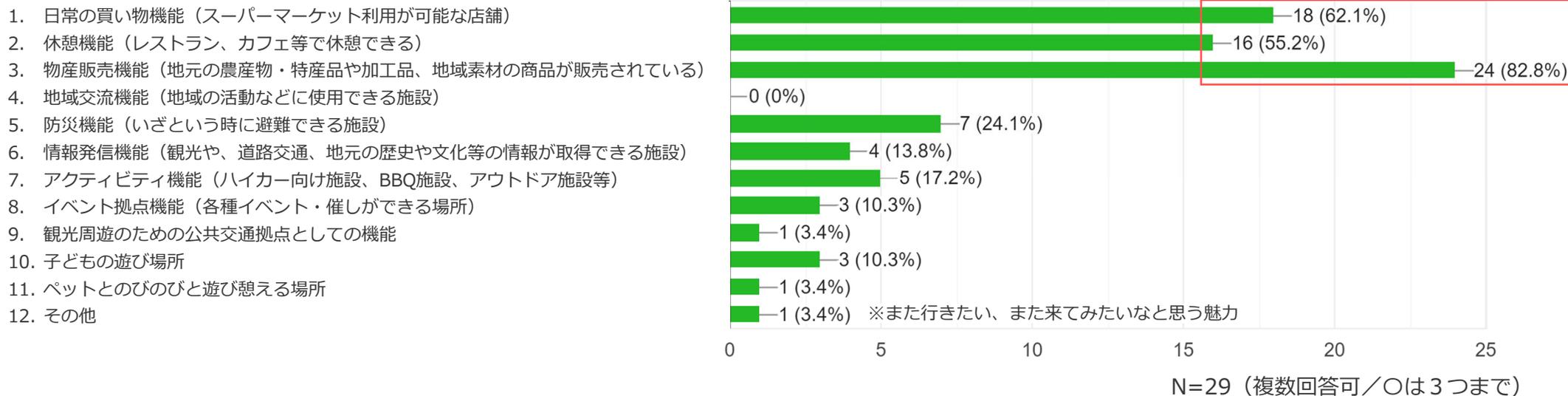
※WEB回答の中間集計状況のみであり、次回、正式な結果を提示させていただきます

* WEB回答：令和6年10月4日（金）集計状況 [総計29票]

問2：これまで道の駅を利用した際の主目的



問3：道の駅ができる場合に必要だと思う機能や場所

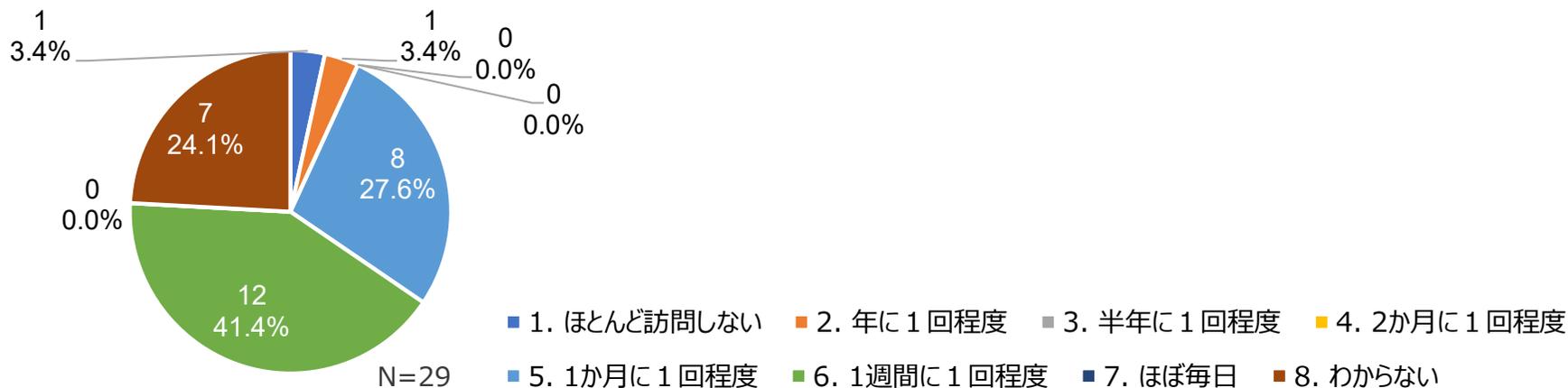


結果速報 (WEBの基本集計のみ)

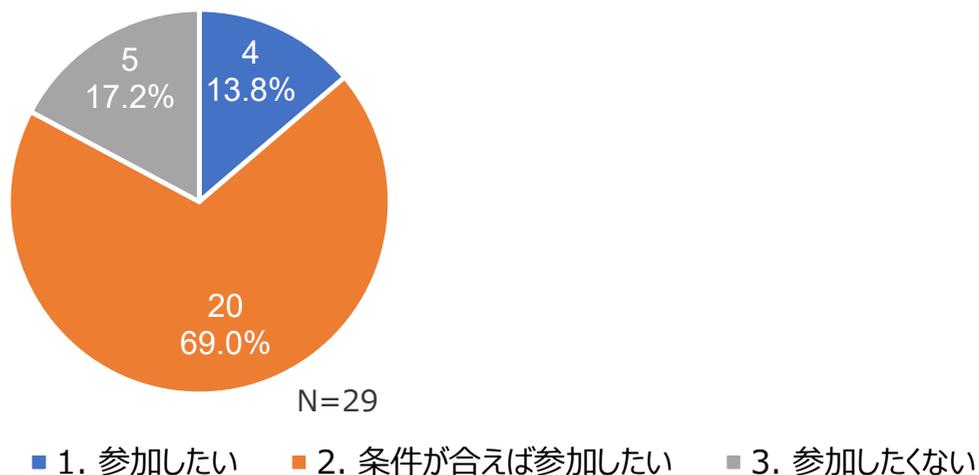
※WEB回答の中間集計状況のみであり、次回、正式な結果を提示させていただきます

* WEB回答：令和6年10月4日（金）集計状況 [総計29票]

問4：道の駅ができた場合に見込まれる来訪頻度



問5：「地域との協働」による道の駅の運営・管理の活動への参加意向



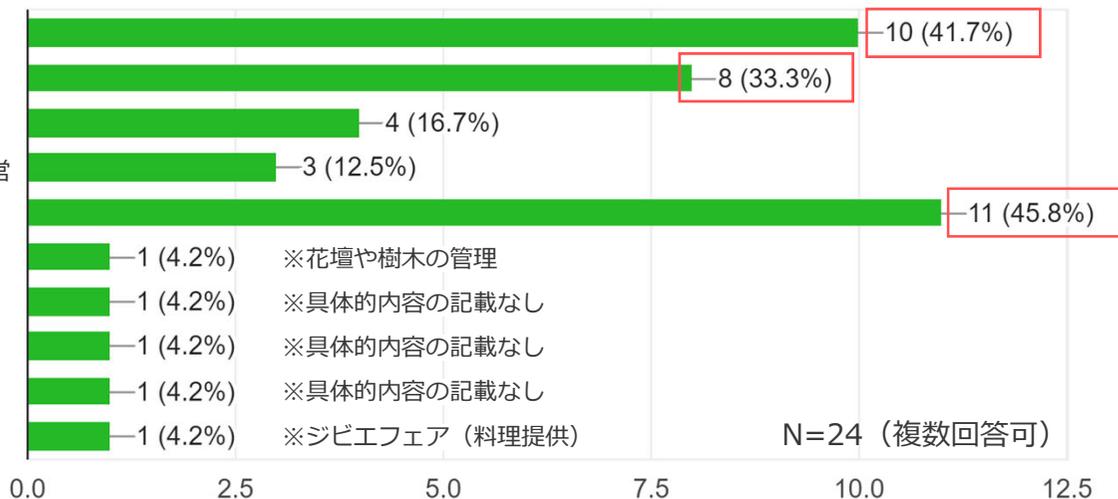
結果速報 (WEBの基本集計のみ)

※WEB回答の中間集計状況のみであり、次回、正式な結果を提示させていただきます

* WEB回答：令和6年10月4日（金）集計状況 [総計29票]

問6：参加できる具体的な活動 (問5で「参加したい・条件が合えば参加したい」と回答した場合)

1. 地元の農作物・特産品や加工品、地域素材の商品などの物産品の出品
2. 地域の交流振興が図れる施設の維持管理・運営
3. 地域の環境学習やイベント開催ができる文化教養施設の維持管理・運営
4. 地域の自然環境を活かしたアウトドア・アクティビティプログラムの運営
5. 道の駅施設の清掃や美化活動など、日常的な維持管理活動への参加
6. その他



結果速報（WEBの基本集計のみ）

※WEB回答の中間集計状況のみであり、次回、正式な結果を提示させていただきます

* WEB回答：令和6年10月4日（金）集計状況 [総計29票]

問7：その他自由意見回答（原文ママ） N=16

- ロードバイクやハイカーの練習コースと温泉への案内があると観光客を呼べると思います。軽井沢の観光客が立ち寄る魅力ができるとうい。川遊びや山遊び（ラフティング、川歩き、アスレチックコース、初心者クライミングなど）
- 駐車スペースは広くとることが一番
- RVパークの設置やキャンプ施設の設置があれば集客が増えると思う
- サービスエリアもスマートIC化するなど、地域の発展にもつながる設備、施設ができて活性化に繋がればよいとおもいます。治安やゴミ問題などもしっかり管理していただいて安心して利用できること願います。
- 道の駅=直売所のイメージで無く、自然を感じられる、カジュアルな雰囲気、何度でも来たくなる、道の駅にして欲しい。
例えば、軽井沢ハルニレテラス、富岡市小幡のような、歴史や自然を感じ、散歩や子どもを遊ばせられる。安中市の特産品だけでなく、ショッピングを楽しめるような工夫をして欲しい。
- 他県や他の地域の道の駅をよく利用しますがお土産やご飯が食べれるだけの道の駅は利用客が少なくただ作っただけなんだなあという印象です。何度も利用している道の駅はアクティビティができたり温泉などがある施設が多く魅力があるものです。地域を活性化させるためにもこれから若い世代が大人になっても作ってくれてよかった、残していきたいと思うような施設の建設を望みます。
- 生産者との密接な取り組みをしていただきたい。売場の特徴を出して欲しい他の道の駅との差別化や得意性を出して欲しい
- 電車利用の人が道の駅を中心に峠の湯やめがね橋等に気軽にアクセス出来る環境作り、カフェや行列が出来るような美味しい食事処、新鮮な農産物直売所
- SLが来る時来場者多く駐車場が超満杯になる可能性大です
- 現状でも土日、連休等おぎのや周辺エリアが渋滞しているのに道の駅ができることにより今以上に渋滞混雑が近隣住民として心配しています。何か良い案はありますか？
- 地元の人が交通渋滞で住みにくくにならないような対策をとってもらいたいです。（脇道が無いので。）
- 早急に進めて下さい
- 細長い土地で利用しずらそう。渋滞し混乱すると思う。矢継ぎ早に場所を見つけた様な気がする。チェアリングが出来てゆっくり時間を過ごす場所もいいですね！
- 各地に道の駅が乱立しているとき、特色がなければ無駄な投資になる。人気のある駅の状況も参考にしながら、地域の特色、特産品をどう生かすか考えるべき。特に、本敷地は横長でありあまり広くもない。利用者の動線も良くないことを踏まえた計画が必要。より敷地を拡大する思い切った策も考える必要。また、既存の業者（おぎのや、宿泊施設、その他食堂など）、施設（鉄道文化村、ガソリンスタンド、関所など）、自然（桜並木など）との共存も必要。安易な計画は避け、しっかりと練っていくべき。
- 道の駅に行く交通手段の確保をお願いします。
- 名物・特産品のおいしい食事の提供等。文化・歴史等の資料館。インスタ映えする建物構造（外観、テラス）。駐車スペースの工夫（殺風景な区画では無いもの）。小説・アニメ・TVロケ地など聖地化した情報発信館

民間事業者ヒアリングの位置づけ

- 具体的な整備計画が定まっていないことを前提に、まずは**整備、運営・管理**を見据えた**アイデアや知見**についてのヒアリングという位置づけで実施

Step 1 事業発案段階①：対象地現況や基本構想内容を基に、**事業への関心やアイデア・ノウハウ**の把握

← 今年度実施するステップ

Step 2 事業発案段階②：事業内容や参画形態、実現に向けて想定されるリスク等の把握

Step 3 事業化検討段階：整備内容や施設分類、事業参画要件、想定リスク、実現性に関する意見の把握

事業の深化に向けて必要なステップ
(※次年度以降)

実施内容

- 民間事業者に対し、以下の内容についてヒアリングを実施。
 - 1) 「道の駅」基本構想（令和6年3月公表）に関する意見・提案
 - 2) 市が考える事業手法や事業スケジュールについて
 - 3) 事業参画の可能性について（想定される事業内容、参画のメリットや効果、参画の課題、地域協働の可能性、環境配慮・防災に関する手法）
 - 4) 道の駅の区域について（単独整備／鉄道文化むらとの一体型整備に関するメリットや懸念される課題等）
 - 5) その他意見・提案
- ヒアリング予定の業種等
 - 小売・物販、交通（モビリティアプリ開発）、施設運営管理、トータルソリューション、アウトドア系
 →2024/10/4時点で8社実施済み。今後、事業者意向や状況に応じ、設定期間外にも実施予定。

今年度の議論のポイント（再掲）

①「横川エリア」として捉えることの重要性

- ・ 計画対象地近辺だけでなく、碓氷峠関所跡や歴史的遺産等、**周辺の観光資源との連携を図りながらどのような“特徴ある”道の駅を目指すか。**

②他地域からの誘客の重要性

- ・ 他地域からの誘客の可能性を図るため、ニーズ調査結果を踏まえながら、**連携の方向性を検討**する。

③地域住民への配慮の重要性

- ・ 観光利用だけでなく、地域住民の方々に**日常的に利用していただき、持続可能性を高めていく**ためのあり方をどうするか。

④情報発信の重要性

- ・ **多方面から来訪され、立ち寄っていただくための情報発信**のあり方をどうするか。

⑤道の駅の大きな位置づけについて

- ・ 道の駅として確実に求められる機能のほか、**「ここにしかない道の駅」を目指すにあたり、どんな機能・コンテンツの導入・強化が必要か。**

⑥計画対象地のつかい方

- ・ 施設計画の中で、**道の駅として確保せねばならない機能と、厳しい敷地形状の中で来訪者の滞留やアクティビティに資する空間等をどのように両立**させるかを検討する。

⑦整備の大きな方向性について

- ・ **道の駅の単独整備か、碓氷峠鉄道文化むらとの一体型整備のどちらの方向性を目指すかを確定**させ、道の駅整備の基本計画として取りまとめる。